

# CS だより

日本キリスト教団逗子教会

牧師 小宮山剛

校長 渡辺 信

## 聖書のことば

『私が愛したように 互いに愛し合いなさい』ヨハネによる福音書 13章 34節

イエスさまはどのように愛したのでしょうか。どんな人でもその人の幸せを願って愛したのです。子どもは親の愛を知って、愛することを学びます。同じように弟子たちはイエスさまの愛を体験して、愛することを学んだのです。自分の友達だけではなく、気の合わない人同士でも大切にし合う姿、これがイエスさまの求めた生き方なのです。

(『イエスのことば100』より)

梅雨明けが待たれる今日この頃ですが、元気ですか？今回は、夏の行事のお知らせです。

## 夏のおたのしみ会

日時：2021年7月31日（土）9：45～11：30

場所：逗子教会礼拝堂・ホール

\*詳細は、同封のチラシをご覧ください。  
待っています！

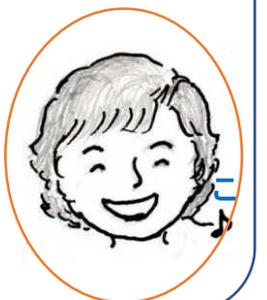


## CSスタッフです どうぞよろしく

ひつじ、金曜日に行われているこひつじの二つのクラスを担当している小宮山たい子です。教会学校教師を奉仕させて頂いて30年以上経ちました。輪島教会、富山二番町教会、逗子教会。たくさんの子供たちと出会ってきました。

れからも神様が出会わせて下さる子供たちを楽しみに待っています。

(ひつじ・こひつじクラス)



新約聖書：マルコによる福音 4章 1～9節

讃美歌第二編：26『ちいさなかごにはなをいれ』

こどもさんびか：25『たたえよしゆのたま』



神の国について、イエスさまが、いろんなたとえ話でわかりやすくお話をしてくださいました。今日読んだ箇所は、種まきのたとえです。このお話は、聞いたことがある人も多いと思います。まかれた種は、落ちた土地によって、芽を出さなかったり、芽が出てもすぐ枯れてしまったり・・・でも良い土地にまかれた種は、ふつうは考えられないようなとてもたくさんの実を結びました。この土地というのは、私たちの心のことです。まかれた種は、イエスさまのみことばのことです。イエスさまは、「みことばを聞いて信じる人は、このように、神さまが祝福してくださり、多くの実を結ぶことができます。信じる人になりなさい」とおっしゃいました。

今日のお話について考えている時に、私がこれまで生きてきて、みことばを信じたら、こんな素晴らしいことがありました、とお話できることはないかなあーと考えましたが、みなさんに

お話しできるようなことがなかなか思いつきません。後から考えると神さまが導いてくださったんだなあと思うことはたくさんありますが、私がみことばを信じたからなのかどうかわかりません。教会で聞いたみことばや、家で聖書を読んだ時のみことばを、その時は信じていると思って、ふと疑いの気持ちが起きたり、しばらくするとみことばのことを忘れていたりして・・・私の心は良い土地になっていないなあと思います。

そこで今日は、私のお父さんのことをお話します。私のお父さんは、今から12年前に、病気で亡くなりました。80歳を過ぎても元気で働いていましたが、肺が弱くなり、鼻にチューブを入れて、酸素を吸入するようになりました。それでも鼻のチューブにつながる酸素ポンペを引っ張って、電車やバスに乗り、出かけていました。教会にも通っていました。でも、だんだん、小さいポンペの酸素では足りなくなり、家に大きな酸素を作る機械を置き、その酸素を吸いながら、家の中だけで生活するようになりました。そのうち、体が弱ってきて、一日中、ベッドの上で過ごすようになりました。お父さんは、仕事でいろんな国に出かけたり、休みの時は家族と旅行に行ったりする活動的な人でした。教会では、教会学校の校長先生をしたりして、いつも忙しそうでした。そんなお父さんが、一日中、ベッドの上になくちゃならないなんて・・・どんなにつらいだろうと思いました。でも、私が家に行くと、いつもニコニコしていました。そしてこんな風に言っていました。「今はね、神さまが今までくださった恵みのことを、一つ一つ思い返しているんだ。そういう時間をいただいているんだよ。」そして、いろんな楽しいおしゃべりをして、お見舞いに行ったはずなのに、私の方が楽しい気持ちにさせられました。

常々「私の葬式の時に歌う讃美歌は、讃美歌 21 の 390 番『主は教会の基となり』と、第二編の 26 番『ちいさなかごにはなをいれ』にして」と言っていました。(今日は、最初にその、「ちいさなかごにはなをいれ」を賛美しました。)

また、ベッドの上で、日記をつけていました。お父さんが亡くなってからそれを読むと、『最善の瞬間』と書いてあるところがありました。最善の時間・・・それは、自分がやがて死んで、神

さまのいらっしゃる天へのぼっていく時のこと。だから、その時は、悦んでくれよ、という風に書いてありました。

神さまのもとへ行くことをこんなに楽しみにしていたということがわかりました。イエスさまがまかれたみことばを心の中でしっかり育て、神さまの御心にかなった道を歩み、最期は大喜びで神さまの御もとへ行っただんなあと思います。

私たちは、毎週教会で、聖書のみことばを聞きます。イエスさまが来てくださり、みことばの種を私たち一人一人の心に蒔いてくださっているのです。難しいなあと思うこともあるかもしれないけれど、そのみことばを繰り返し繰り返し、心の中で言うてみてください。そうするとそれがどういうことなのか、わかる時が来ます。『隣人を愛しなさい』というみことばを心の中に持っている、そうか、今、この人のために私が何かすることが、隣人を愛するということなんだ・・・という風に神さまが教えてくださる時があります。みことばを信じましょう。信じることによって、私たちは神の国に入ることができるとイエスさまはおっしゃいます。

いただいたみことばを心の中で育てるのは、自分の努力だけでは難しいかもしれません。神さまに助けをいただけるよう一緒にお祈りしたいと思います。 <I. K>

~~~~~これからのお話~~~~~

7月11日『ちいさなタネのおはなし』



7月18日『嵐を静めるイエスさま』



7月25日『ひとりのひとのために』



\* カードの出典は福音主義教会連合

CS 礼拝のYouTube配信はこちらから ⇒ ⇒ ⇒ ⇒  
facebook でも CS の案内をしています。「日本キリスト教団返子教会」で検索してください



# 挑戦しよう!

## たとえ話 マタイの福音書13章

正解は8月号に

パズルをときましょう。

|                                                    |  |  |  |                              |
|----------------------------------------------------|--|--|--|------------------------------|
| この中に落ちた種は、ふさが<br>れてしまいました (7節)                     |  |  |  |                              |
| からし種は大きくなって、やがて鳥が<br>これに巣を作るほどになる (32節)            |  |  |  |                              |
|                                                    |  |  |  | 「別の種が土の□□□岩地に<br>落ちた」 (5節)   |
| 「天の御国は、畑に□<br>□□□□宝のような<br>ものです」 (44節)             |  |  |  |                              |
|                                                    |  |  |  | どく麦をまいた敵 (39節)               |
| 「□□□□□者は聞き<br>なさい」 (43節)                           |  |  |  |                              |
|                                                    |  |  |  | ここに落ちた種は鳥に食べら<br>れてしまった (4節) |
| みことばをふさぐものは、世の心づか<br>いと□□□□□□ (22節)                |  |  |  |                              |
|                                                    |  |  |  | 人々は、イエスの□□に<br>おどろいた (54節)   |
|                                                    |  |  |  | 種とはこれのこと (23節)               |
| 悪い者は燃える <sup>ろ</sup> 炉に投げこまれ、<br>「□□□歯ざしりする」 (50節) |  |  |  |                              |
| 「天の御国は、良い□□□□を捜して<br>いる商人のようなものです」 (45節)           |  |  |  |                              |

6月号の答→

屋根をはがして

